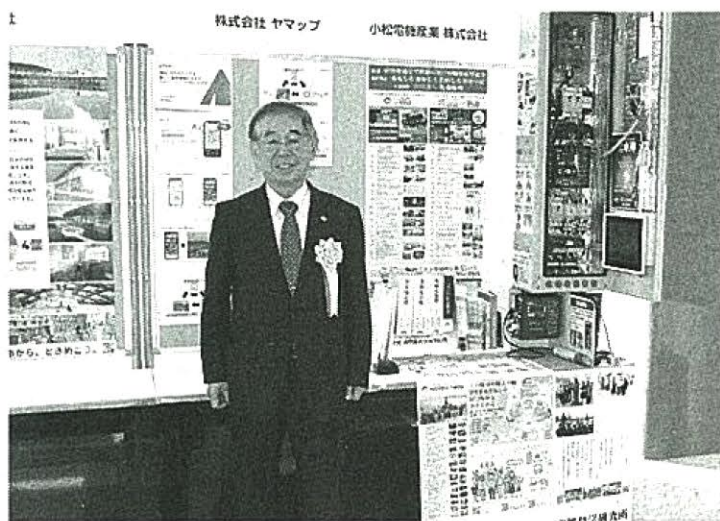


新事業創出大賞特別賞を受賞

小松電機産業「やくも水神」



小松会長とやくも水神の制御盤

小松電機産業は、日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)が主催する第17回ニッポン新事業創出大賞においてアントレプレナー部門の特別賞を受賞した。同社のクラウド総合水管理システム「やくも水神」の新型コントローラーが業務の効率化に寄与する新たな水インフラのIoT事業として評価された。さきごろ宇都宮市内で開かれた

「JNB新事業創出全国フォーラムinとちぎ」の中で表彰式が行われ、小松昭夫・会長兼社長が表彰を受けた。

小松会長は受賞にあたり、「やくも水神はIoTを通じて上下水道事業体の持続に貢献するソリューションとして20年の実績を重ねてきた。施設一斉更新の時代を迎えるなか、当社は事業体のニーズに応えるべく開発を進めてきた。輸入コ

ストの高騰などにより、モノ不足が喫緊の課題となっている。衣食住の多くを輸入に頼る日本が、世界にとって必要不可

欠とされる存在となる一助になれば」と語った。

やくも水神は、IoTを活用して上下水道をはじめとする施設の情報を可視化・共有し、効率的に制御管理を行う総合水管理システム。上下水道施設のほかに河川や水門、アンダーパスといった多岐にわたる施設をクラウド上で一元管理する「広域クロスオーバー管理」が可能で、ネットワークシステムを備えている。

2020年に販売を開始した新型コントローラーは、小型のため既存制御盤の製造元を問わず短時間で設置でき、クラウドを通じて出先や事務所の端末からも運転・修理履歴や図面・台帳のデータ共有、遠隔監視・操作などが可能となる。さらに、遠隔で内部ソフトを書き換えることで多

様な用途に対応。増設バッテリーを用いることで停電時にも最大7日間稼働できる。気象庁の高解像度降水ナウキャストと連携した排水ポンプ制御による災害被害の最小化にも寄与する。

クラウド上のデータは東日本と西日本にそれぞれ設置されたデータセンタで共有され、相互に連携することで広域災害時においても信頼性の確保が可能。水質管理、水位監視、河川ゲートや消雪施設といった多様な用途に対応する。

ニッポン新事業創出大賞は、新規事業や活動を対象に革新的な商品やサービス、顕著な実績、成長発展する海外進出企業などを顕彰し、経済社会や地域の活性化に資することを目的としたもの。